

依知南小学校教育の基本構想

はじめに

本校の学区は厚木市の東部に位置し、西に丹沢山塊と大山を遠望し、相模川と中津川の大きな川に囲まれている。また、このあたりは、かつてはのどかな桑畑地帯であったが、本厚木駅や海老名駅にもバスで20分ほどのところに位置し、R129とR246の分岐点ともなっているため、急速に住宅化が進んできた。平成27年には圏央道路が東北道まで開通し、学区内に県央厚木ICが開設されたことにより周辺道路網が整備され、流通産業の要地としての役割を担っている。

本校は平成26年度に**創立50周年**を迎えた。児童数はここ数年、500名程度で推移しているが、平成29年度には畑だった場所の半分を使い児童クラブが新設された。地域住民の方々は学校教育に協力的で、学校に関わっていただくボランティアの参加もとても多く、平成29年度には学校運営協議会を発足しコミュニティ・スクールとなった。そして、「地域とともにある学校づくり」「地域に開かれた教育課程」「特色ある学校づくり」が着々と歩み始めている。

このような学区や本校の状況を背景とした児童の実態は次のようである。

長所

活発で子どもらしい
人なつこく優しい
物事に一生懸命取り組む
友だち思い

短所

自主性に欠ける
自分の行動に自信を持ってない
「思い」を伝えることが苦手
家庭環境等の影響が負に働く

本校はこれまでに学校教育目標を「自ら学び、よく考える子」「心豊かでやさしい子」「健康でたくましい子」という大きな3本の柱として教育活動を展開してきた。特に平成27年度からは、キャッチフレーズを『**えがお**で **ちゃれんじ** ゆめいっぱい **みなみ**っ子』とし、一丸となって学校目標実現の為に取り組んできた。平成31年度もこの精神を継続して教育活動を展開していく。

○えがお・・・登校してきた時に「えがお」のある子は、家庭で「しっかり頑張っておいで」と、温かく見送られてきているし、「学校に来たら友達や先生と様々な学び合いができる」という楽しみを胸に抱いてくる。また、下校する時に「えがお」のある子は、学校での生活が充実していたし、温かく迎え入れてくれる家庭が待っている。そんな「えがお」を生み出していくことが大切。だからこそ家庭との連携は絶対に必要なのだという認識を持って取り組む必要がある。また、先生も同様に、先生の「えがお」は子どものやる気を引き出し、学校生活を豊かにさせる力がある。

○ちゃれんじ・・・「学校は失敗するところ」をしっかりと伝え、目標をしっかりと持ち、一生懸命頑張る児童を育て、失敗することを恐れず、新たなことに挑戦していく児童を育成する。また、教育改革、働き方改革を推進する先生も、挑戦していく姿勢を持ち続けることが活力ある学校を創り出す。

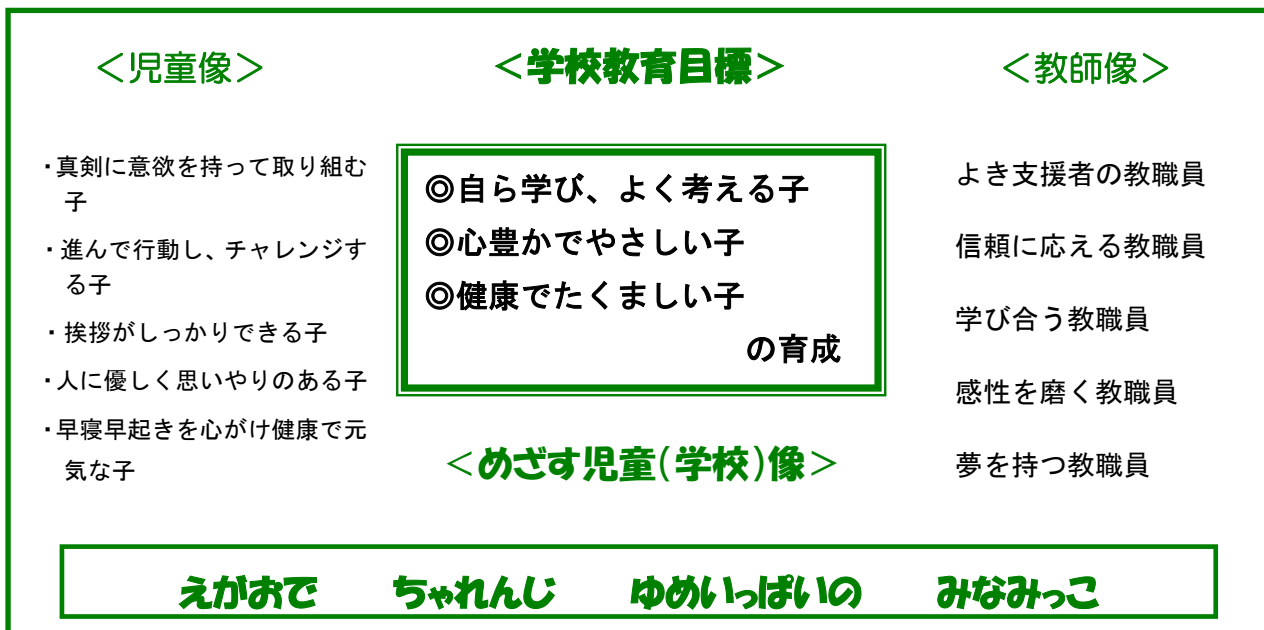
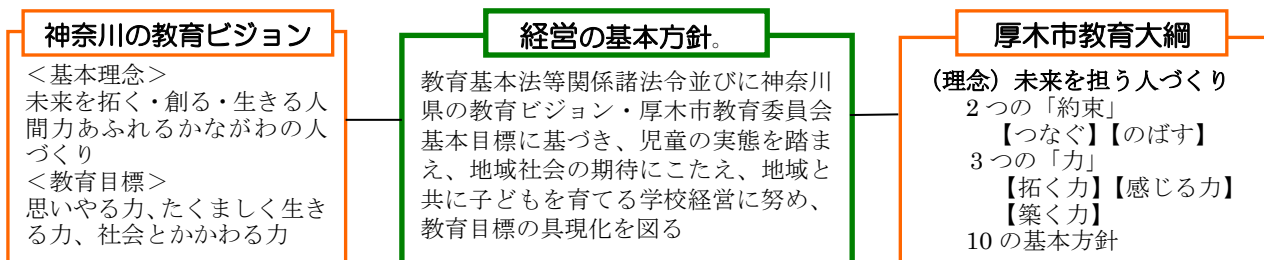
○ゆめいっぱい・・・夢を持つ、夢に向かってつきすすむ、夢を実現する楽しさを味わわせることで、これからの世の中を自分たちの手で創り、切り拓いていこうとする児童を育成する。

「創る、拓く、遊ぶ」の精神を念頭に置き、学校運営協議会とともに、「開かれた学校」「特色ある学校」づくりを積極的に展開していく。

学校教育目標・教育基本構想図

児童や地域の実態および神奈川の教育ビジョン、厚木市教育大綱をふまえ、児童一人一人が確かな学力と豊かな心を持ち、友達と支えあいながら自己の目標に向かって努力する児童の育成をめざして、学校教育目標・教育基本構想を次のように設定し、全教育活動を通して具現化をはかっています。

— 依知南小学校教育構想 —



学校運営の4本柱・努力点

- (1) 学ぶ力の育成と確かな学力の向上 <知>
- (2) 豊かな心の育成と個を大切にされた教育 <徳>
- (3) 健やかな身体を育て、安心・安全で地域に開かれた学校
<体・安・開>
- (4) 機能的で効果的な学校管理 <管>

2 学校経営の方針

- 教育基本法等関係諸法令並びに学習指導要領・神奈川県教育ビジョン・厚木市の教育大綱に基づいた学校運営を展開する
- 児童・保護者・地域の実態を踏まえ、特色ある学校づくりをめざし、学校運営協議会・(仮)地域学校協働本部及び全教職員の協力体制による協働と統一ある運営に努める
- 地域社会の「思い」を大切に、「地域と共にある学校づくり」をめざした運営に努める
- 児童が安心・安全に生活・学習できるように危機管理体制を確立した運営に努める

3 校内研究

本校では平成 27 年度から「わかる・できる授業づくり」を意識した研究に取り組んできた。そして、平成 28 年度からは教科を国語にしぼり新たに「豊かに表現する子の育成」のテーマのもと研究に取り組み、平成 29 年度はサブテーマを～書く活動を通して～と設定し、平成 30 年度からは下記のようなテーマのもと研究を推進してきた。平成 31 年度も継続したテーマで、研究を推進する。

研究主題 『自分の思いや考えを豊かに表現する子の育成』
～国語科における「書くこと」の指導を中心とした取り組みを通して～

4 学校運営（4 本柱・努力点）の具体的な取り組み

（1）学ぶ力の育成と確かな学力の向上 <知>

- ①全員がわかる授業、全員が参加し楽しい授業
 - 「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業を行う
 - タブレット等教材・教具を活用し工夫した授業を行う
- ②新たな時代、新たな教育課程に対応できる授業
 - プログラミングの授業（計画的・系統的実施）を行う
 - 将来役に立つ、外国語活動と外国語の授業を行う
 - 有効な短時間学習とスキルタイム（含：スーパースキルタイム）の実施
- ③協力指導体制や少人数指導等、指導方法の工夫・改善
 - 基礎学力の向上を図るために少人数指導等、指導方法の工夫改善を図る
- ④感性を磨き、心を育てる読書活動
 - 言語感覚を磨き、想像力・思考力などを育てる読書活動を充実させる
- ⑤小・中連携推進事業の推進及び幼・保との連携推進
 - 中一及び小一ギャップを解消するために小中及び幼保小連携推進事業を推進する
- ⑥学校運営協議会との協働による学校目標実現に向けての学校評価の実施
 - 学校運営に反映させる学校評価を実施する（学校アンケートなど）
- ⑦学力向上につながる家庭学習の習慣化
 - 家庭学習チャレンジ週間の綿密な計画立案と実施（期間・方法・内容等）を行う
 - 主体的に取り組める自主学習例の提示を行う

（2）豊かな心の育成と個を大切にした教育 <徳>

- ①豊かな心を育て、個を大切に、個性を生かした学年・学級経営

- 全体計画に即した年間指導計画を作成し、「考える・議論する道徳」の授業を行う
- 「すべての児童が学校にとってとても大切な存在なのだ」という意識を持って、不登校ゼロをめざす（含：支援シートの効果的な活用方法の検討）
- ②あらゆる場面で人権を意識した教育活動の展開
 - 全学級で計画的な「命の授業」を行い、命の大切さについて考える（2月9日は必須）
 - インクルーシブな教育活動の推進を行う
 - 人権意識を高める研修の実施や研究会への積極的な参加を行う
 - いじめは絶対に認めない、「人が嫌がることは絶対にしない」という姿勢でのぞむ
- ③個に応じた支援教育の展開
 - 教育相談コーディネータを中心に、SSW・元気アップアシスタントやスクールカウンセラー・学習ボランティア等との連携を密にした支援体制を確立する
 - ユニバーサルデザインを意識した学習環境づくりを行う
 - 依知南スタンダードのバージョンアップを常に意識化する
- ④学校運営協議会や他機関との連携を密にした生活習慣や社会性を育てる児童指導
 - 学校運営協議会や地域学校協働本部（仮称）との協働で心を豊かにする事業を行う

（3） 健やかな身体を育て、安心・安全で地域に開かれた学校 <体・安・開>

- ①体力づくりと健康教育の推進
 - 運動量を意識した授業や様々な体育的活動や外遊びを奨励し、体力の向上を図る
 - 場の工夫や指導方法の工夫を行い生涯にわたって体を動かすことの大切さに気付かせる
 - 学校運営協議会等や児童会活動で体力づくりを意識したイベントを行う
- ②交通事故や事件を起こさないという決意のもと危機管理体制の維持・推進
 - 交通安全教室・交通安全指導の強化、自転車乗車時のヘルメット着用を推進を図る
 - 校内における防犯・防災計画を確立し、様々な想定をした訓練を行う
- ③学校運営協議会との協働による地域との連携、ボランティアの導入
 - 地域の人のとの関わりを通して、郷土を愛する心を育てる
 - 地域行事（特に田んぼ、ごみ、落書き、駅伝、相撲）への参加を積極的に働きかける
 - ボランティア等地域人材の学校への参画を積極的に取り入れる
- ④望ましい食習慣を育てる食育の推進
 - アレルギー児童に対する綿密な計画を立てることで、安全・安心な食環境づくりを行う
 - ふれあいや楽しさを意識した創造的な食育の展開に心がける
- ⑤学社融合による授業の創造
 - 地域人材の教育力を取り上げ、活動内容や指導計画などを工夫する
 - 地域とともにある学校をめざし、地域との協働による+αの授業展開を図る
- ⑥開かれた学校づくり
 - 学校PRを戦略的に意識した学校HP（ブログ）・学校だよりの発信
- ⑦施設活用・開放の研究推進
 - コミュニティー・ルームの開放を行い地域・学校の拠点として機能するか研究する

（4） 機能的で効果的な学校管理 <管>

- ①学校運営協議会での「地域にある学校とは」の議論と「地域とともにある学校」づくりや地域に密着した「特色ある学校」づくりの推進
 - 地域学校協働本部（仮）の組織確立とコーディネータの位置づけを明確にし機能させる
- ②学校教育目標実現に向けてのPDCAサイクルでの実践
- ③組織運営を効果的に行うための学校配当予算と補助金の適切・効果的活用
- ④様々な視点からの働き方改革の研究・実践